

患者さんパンフレット

四国がんセンター
骨軟部腫瘍・整形外科



全身麻酔で
軟部腫瘍切除術／骨生検を
受けられる方へ

さま

主治医

受持ち看護師

2018年4月24日 作成
2026年2月16日 改訂

私たち医療スタッフは

- I 入院や手術に対する不安を軽減し、最良の状態での治療が受けられるようにお手伝いします

- II 手術後の苦痛を軽減し、合併症を起こさず順調に回復され安心して退院を迎えられるようにお手伝いします



手術までに準備していただきたいこと

- 他の病院で処方され服用している薬がある方は、入院時に必ずお持ちください（原則、入院中は他の病院の受診ができないため、余裕をもってお持ちください）
- お薬手帳をお持ちの方は、入院時に必ずお持ちください
- サプリメントを飲んでいる方は必ずお申し出ください
- 爪の装飾（マニキュア、ペディキュア、マグネットネイル、ジェルネイル、スカルプネイルなど）は入院前に落とし、爪は短く切っておいてください
- まつげのエクステーションをされている方は、お知らせください

<以下のものは病院で貸し出し購入もできます>

- 衣類（パジャマタイプ/ゆかたタイプ）
- バスタオル 1枚
- フェイスタオル 2~3枚
- ティッシュペーパー 1箱
- 紙おむつ（マジックテープ式） 1枚
- コップ、曲がるストローまたは吸い飲み

「CSセットのご案内」冊子を
参考にしてください

「入院される方へ」の
パンフレットを
参考にしてください

<ご自宅からお持ちください>

- ビニール袋 3枚
(靴、ねまき、下着などを入れるために使います)



※同意書がお手元にある方は忘れずお持ちください

医療品ショップ くろ〜ば〜

場所 2階 中央処置室前
営業時間 8:30~17:00
定休日 土・日・祝日・年末年始
電話 (089) 999-1129





ダイアリー

このパンフレットには、当院での標準的な治療や日常生活で注意していただきたいポイントなどを記載しています

また、よりよい状態で退院を迎えられるように患者さんご自身の目標と医療スタッフの目標をあげています

入院は約1週間～2週間の予定です

手術後の回復は、個人差があり、体の状態によっては予定どおりにすすまないこともあります。その都度対応していきますので、ご安心ください

私たち医療スタッフは、これからの入院生活を不安なく送れるように支援させていただきます





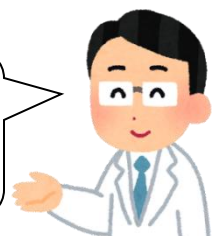
今日の目標

- ・入院生活、手術について医療スタッフの説明が理解できる
- ・わからないことは質問することができる

<時間>	<予定>	
11:00	入院	【入院後に以下のことを予定しています】 <ul style="list-style-type: none"> ・看護師から病院内、病棟内、入院生活の説明（テレビの病院案内も参考にしてください）
12:00	昼食	<ul style="list-style-type: none"> ・検温、血圧測定、身体測定 ・連絡先、既往歴、生活習慣などの聞き取り ・医師より手術の説明があります ご家族の方も一緒に説明をお聞きください ・サインをした同意書は看護師にお渡しください ・わからないことやもう少し詳しく説明を聞きたいことなどが ありましたら、遠慮なくお尋ねください
		<手術前の準備> <ul style="list-style-type: none"> ・手術室の看護師からの説明 ・手術に必要な物品の確認 ・手術前の機能訓練 ・必要時、おへその掃除や毛そりをします ・シャワー浴をしましょう ・男性はひげをそりましょう
18:00	夕食	<お薬> <ul style="list-style-type: none"> ・他の病院で処方された薬は、一度お預かりします 医師に確認後、続けるか、中止するかをお伝えします ・血液をさらさらにする薬を飲んでいた方は内服中止した日を 医療スタッフにお知らせください ・排便を促すために21時に下剤を服用します ・眠れない場合は安定剤を服用することができます
21:30	消灯	<食事> <ul style="list-style-type: none"> ・食物アレルギーのある方は、医療スタッフにお知らせください ・基礎疾患（糖尿病・高血圧等）がある方は、治療食になる 場合があります ・24時以降は飲んだり食べたりできません (医師の指示で、変更になる場合があります)

医療スタッフの目標

- ・入院生活や手術に対する不安がないように支援します
- ・手術の準備をすすめられるように支援します



手術前の機能訓練

体を動かすことにより、痰を出しやすく血液循環を良くして傷の治りを早めます
また、腸の動きを良くして、ガスを出すなど回復を早めることができます

●深呼吸

- ①仰向けに寝て全身の力を抜きます
- ②鼻から大きく息を吸います
- ③口からゆっくりと息を吐き出します
吸う息より吐く息の方を長めにしましょう



●痰の出し方

- ①傷口を手で押さえる、あるいは脇をしめて
小さな咳を2～3回して、徐々に痰を上
上げていきます
- ②最後に少し大きな咳をすると楽に痰を出せます

●うがい

うがいをすることにより、口の中を清潔にしましょう
痰も出しやすくなります

- ①寝たままで顔を横に向けて、うがいをします
- ②静かに舌で流しだすようなイメージで水を吐き出します
このとき飲み込まないように注意しましょう

●体の動かし方

麻酔がさめたら、横向きになってみましょう

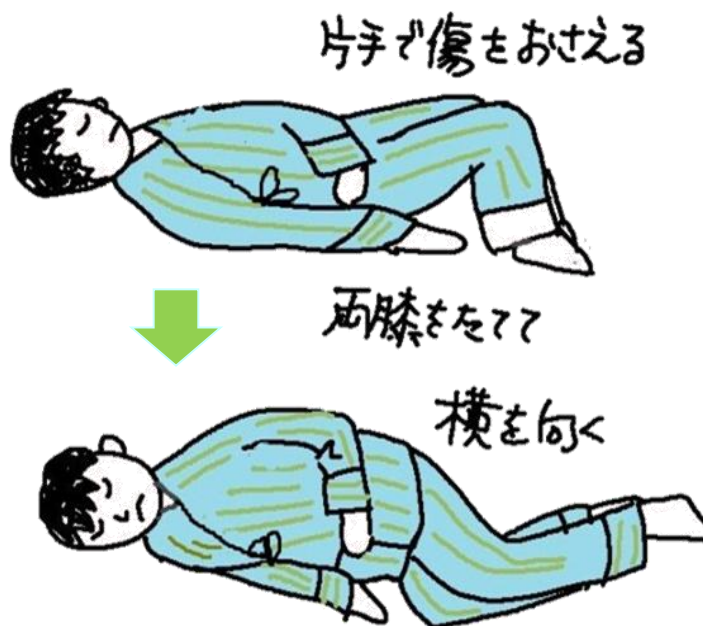
手術後に体を動かすことは、痛みをともないつらいと思いますが

- (1) 痰を出しやすくする
- (2) 血液循環を良くして傷の治りを早める
- (3) 腸の動きを良くしてガスを出す

など、回復を早めることができますので、積極的にがんばりましょう

—横の向き方—

- ①傷口を片手で押さえ、両膝を立ててお腹の筋肉をゆるめます
- ②腰を浮かせて体を向ける反対側へ腰の位置をずらします
- ③ゆっくりと体を横に向けます



—起き上がり方—

- ①ベッドのリモコンを操作して、ゆっくり90度まで起こします
- ②足をベッドから下ろします
- ③手をベッドについて、ゆっくりと体を起こします

ご家族の方へ

手術当日は、手術開始予定時刻の30分前までに病棟にお越しください
手術中は、必ず院内でお待ちください（2階フロア・4階家族控え室など）

必ず所在を明らかにし、連絡が取れるようお願いいたします

手術後、主治医から手術の結果について説明があります。

他の患者さんの手術の関係で手術後すぐに説明できない場合は、お待ちいただく
ことをご了承ください

MEMO

気になることや症状など書き留めておきましょう



今日の目標

- ・頭痛や吐き気がない
- ・痛みを我慢せず、医療スタッフに伝えることができる

手術後は、時間を決めて以下のことを行います

検温、血圧測定、状態観察

- ・帰室時、帰室後15分、30分、60分、120分に行います
- ※これ以外にも必要な時に測定します

深呼吸

- ・目が覚めたら大きく深呼吸をしましょう

うがい

- ・ベッドに横になったまま行います（看護師がお手伝いします）
- ・3時間経ち、お腹が動いていることを確認できたら、水を飲むことができます

活動

- ・ベッドの頭側を少し上げます
- ・体を横向きにするときは、看護師がお手伝いします

痛み

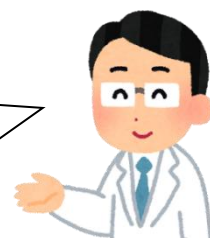
- ・痛みが強い場合は、痛み止めを使います
- ・痛みがある場合は、看護師にお知らせください

排液のための管

- ・溜まった血液などを出すために、手術をした部位に管（ドレーン）が入ります

医療スタッフの目標

- ・手術後の合併症の早期発見に努めます
- ・床ずれの予防に努めます



手術後の患者さんの様子

酸素マスク

麻酔が完全に覚めるのを助け、手術後の呼吸状態を安定に保ちます

酸素濃度測定器

身体の酸素の状態を観察します

点滴

手術の後は飲んだり食べたりできないため点滴があります

尿の管

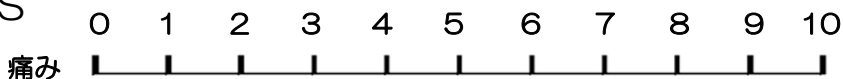
手術中に尿をとる管が入ります

急に動くとチューブ類が抜ける場合があります
体の向きを変えたいときは看護師にお知らせください

手術後の痛みについて

手術後の痛みについては、痛みの程度を看護師が数字でお聞きします（NRS）
数字での表現が難しいときは、フェイススケールでお答えください

1) NRS



全く痛くない

これ以上耐えられないほど
ひどい痛み

2) フェイススケール



0

痛みがない



1

少しだけ
痛い



2

もう少し
痛い



3

もっと
痛い



4

かなり
痛い



5

もっとも
痛い



今日の目標

- ・頭痛や吐き気がない
- ・痛みを我慢せず、医療スタッフに伝えることができる
- ・看護師と一緒に部屋の中を歩くことができる

<時間>	<予定>
6:00	起床 検温、血圧測定
7:30	ベッドを起こして座ります 温かいタオルをお持ちします ベッドに座って、洗面、うがいをしましょう
9:00	回診 医師が傷の状態を見て、ガーゼを交換します 状態にあわせて排液のための管を抜きます
10:00	検温、血圧測定 医師の診察後、状態に合わせて歩行ができます 尿の管を抜きます 〔尿の管を抜いて4時間以上排尿がなければ、エコーをして 必要時には、尿の管を一時的に入れて尿を出すようにします〕 体を拭いて着替えをします
12:00	昼食
14:00	検温、血圧測定
18:00	夕食
19:00	検温、血圧測定
21:30	消灯

朝から食事がはじまります

状態に合わせて、看護師と一緒に
トイレまで歩いてみましょう
必要時、歩行器などを
使用することがあります
本日は、病室内歩行のみです



※手術前の内服薬の再開の指示が出ればお知らせします

医療スタッフの目標

- ・手術後の合併症の早期発見に努めます
- ・床ずれの予防に努めます






今日の目標

- 頭痛や吐き気がない
- 痛みを我慢せず、医療スタッフに伝えることができる
- 病棟内を歩くことができる

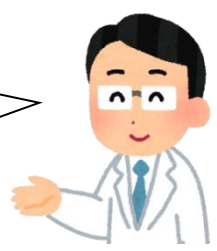
<時間>	<予定>
6:00	起床 検温、血圧測定
7:30	朝食 洗面、歯磨きをしましょう
9:00	回診 医師が傷の状態を見て、ガーゼを交換します
10:00	検温、血圧測定
12:00	昼食
14:00	検温、血圧測定
18:00	夕食
19:00	検温、血圧測定
21:30	消灯



看護師と一緒に体を拭きましょう
医師の許可があればシャワー浴を
しましょう
〔看護師がお手伝いしますので
いつでも声をかけてください〕

MEMO 気になることや症状など書き留めておきましょう

医療スタッフの目標
• 手術後の合併症の早期発見に努めます



手術後3日目 月 日



今日の目標

- 頭痛や吐き気がない
- 痛みを我慢せず、医療スタッフに伝えることができる
- 病棟内を歩くことができる

<時間>

<予定>

6:00

起床

7:30

朝食
洗面、歯磨きをしましょう

9:00

回診
医師が傷の状態を見て、ガーゼを交換します
→傷の状態をみてガーゼを除去します
(翌日になることもあります)

10:00

検温、血圧測定

12:00

昼食

14:00

検温、血圧測定

看護師と一緒に体を拭きましょう
医師の許可があればシャワー浴を
しましょう
〔看護師がお手伝いしますので
いつでも声をかけてください〕



18:00

夕食

21:30

消灯

MEMO

気になることや症状など書き留めておきましょう

医療スタッフの目標

- 手術後の合併症の早期発見に努めます





今日の目標

- ・痛みを我慢せず、医療スタッフに伝えることができる

<時間>

<予定>

6:00

起床

7:00

朝食

洗面、歯磨きをしましょう

9:00

回診

傷の状態をみて、ガーゼを除去します

10:00

検温、血圧測定

12:00

昼食

18:00

夕食

21:30

消灯



医師の許可があればシャワー浴を
しましょう

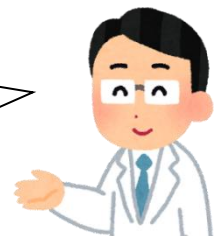
〔看護師がお手伝いしますので
いつでも声をかけてください〕

MEMO

気になることや症状など書き留めておきましょう

医療スタッフの目標

- ・手術後の合併症の早期発見に努めます





今日の目標

- ・痛みを我慢せず、医療スタッフに伝えることができる
- ・退院後の日常生活の注意点について理解できる

<時間>

<予定>

6:00	起床
7:30	朝食 洗面、歯磨きをしましょう
9:00	回診
10:00	検温、血圧測定
12:00	昼食 シャワー浴をしましょう
18:00	夕食
21:30	消灯

看護師から退院後の生活
(日常生活・外来受診)
について説明をします

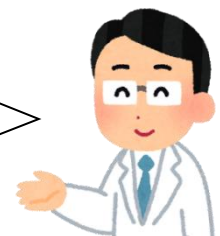


MEMO

気になることや症状など書き留めておきましょう

医療スタッフの目標

- ・手術後の合併症の早期発見に努めます
- ・退院後の日常生活に不安がないように支援します



退院日 月 日



今日の目標

- ・退院後の日常生活の注意点について理解できる
- ・退院できる

<時間>

<予定>

6:00

起床
検温、血圧測定

7:30

朝食

お預かりしている薬、退院の薬がある場合はお渡しします
次回外来予約票をお渡しします

退院

退院前に忘れ物がないようにご確認ください

「入院診療費料金連絡票」を病室にお届けしますので、
2階でお支払ください

次回外来受診は

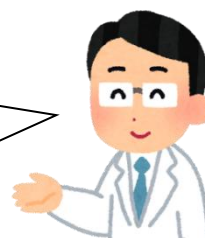
月 日 () 時 です

MEMO

気になることや症状など書き留めておきましょう

医療スタッフの目標

- ・退院後の日常生活に不安がないように支援します





退院後の日常生活について

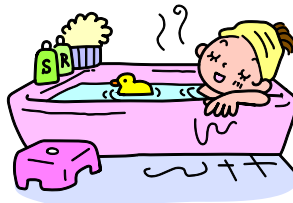
●活動

疲れないように、元の生活に戻していきましょう
自転車やバイク・自動車の運転もできます



●入浴

特に制限はありません



●仕事

重い荷物を持つような重労働は、しばらく避けるようにしましょう
仕事開始時期については、主治医と相談しましょう

これから先、安心して働き続けるためには、
体の状態に合わせた休み方や働き方が必要に
なることもあります

病院では、患者さんの「働きたい！」を
サポートしています

ご相談は、がん相談支援センターへお問い合わせください



ちりょうさ
厚生労働省『治療と仕事の両立支援』キャラクター

●お薬

薬のある方は、医師の指示どおりに服用してください
他の病院の薬を服用する場合は、医師に相談してください



●その他

定期受診は必ず受けるようにしましょう



- 熱が38.0℃以上続いたとき
- 痛みが持続して治まらないとき
- 傷が赤く腫れ激痛があるとき

上記のような症状がある場合やその他ご心配なことがある場合は
がん相談支援センターにご連絡ください

◆四国がんセンターの連絡先◆

【平日】 8:30~17:15
四国がんセンター がん相談支援センター
(直通番号) 089-999-1114

【平日上記時間外および土・日・祝日】
日直/夜間当直師長
(代表番号) 089-999-1111

翌日以降の外来受診日や検査予約日の変更
【平日】 13:00~17:00
四国がんセンター 予約センター
(直通番号) 089-999-1112



全身麻酔で軟部腫瘍切除術／骨生検を受けられる方へ